

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立海青中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修や教材研究を通して授業改善を図り、グループ学習やICTの活用等を行い、自ら学ぶ生徒の育成に努める。</li> <li>・職業講話や職場体験学習等、地域人材を活用してキャリア教育を進め、学校・保護者・地域で子どもたちの成長を支える事業を継続する。</li> <li>・不登校生徒も多く、SC・SSW・関係機関と連携を図りながら、未然防止・初期対応に努め、一人ひとりにきめ細やかな対応を行う。</li> <li>・今年度同様、日常より子どもたちの言動に注意し、いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題の未然防止・早期発見・早期対応・再発防止に心がける。また、子どもたちや保護者に寄り添いながら、信頼される学校づくりに邁進する。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	「夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成」～笑顔と優しさあふれる学校に～
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>(1) 学校・家庭・地域との連携・協働</p> <p>(2) 生徒相互の好ましい人間関係の構築と確かな学力を身に付けさせるための授業改善</p> <p>(3) 生徒指導における組織体制のさらなる推進</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・個に応じた学習を進め、学習内容の定着を図る。	○「学び合いやICTを活用した学習を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答する生徒の割合を昨年度同様(84%)にする。	・グループ活動やICTを活用した学習活動を半分以上の授業で実践する。 ・校内研究で「ピア・サポート」についての研修を深め、学級経営や授業で実践する。								・教務主任 ・学力向上コーディネーター
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校行事、生徒会活動、係活動等に積極的に取り組んでいる」と答える生徒の割合を昨年度同様(97%)以上にする。	・校内研修で学んだことを全職員が活用して、特別活動や生徒会活動、係活動の見直しや改善を図る。 ・人権・同和教育の推進を図る。 ・定期的なGWTやエンカウンター、アサーションを取り入れ、互いを認め合う授業に取り組む。							・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめや差別など、人の嫌がることは絶対しない、許さないという態度で生活している」と答える生徒の割合を昨年度同様(93%)以上にする。	・年2回のhyper-QUの実施の分析・考察を行う。 ・毎月の生活アンケートや心の健康アンケート、日記・生活ノートを通して、早期発見や早期対応を適切に行う。 ・生徒が何でも相談できるような環境づくりに努める。							・生徒指導主事 ・各学年主任	
	●生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的に答える生徒の割合を75%以上にする。 ●「学校は、将来を考える機会を設けている」と答える保護者の割合を昨年度同様(89%)以上にする。	・全ての教科や学校行事を通してキャリア教育を充実させ、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。 ・職業講話や職場体験などの学習を通して、自ら将来のことを考える機会を設ける。								・総合的な学習主事 ・進路指導主事 ・教務主任 ・各学年主任
	○笑顔と優しさあふれる学校づくりを行う。	○「学校が楽しいと答える」生徒の割合を昨年度同様(96%)以上にする。	・定期的なGWTやエンカウンター、アサーションを取り入れ、互いを認め合うことの意義を学ぶ機会を確保する。 ・毎月の生活アンケートや心の健康アンケート、日記・生活ノートを通して、早期発見や早期対応を適切に行う。 ・校内研究で「ピア・サポート活動」についての研修を深め、学級経営や授業、特別活動の改善を図る。								・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・各学年主任
●健康・体づくり	⑥「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	⑥「健康に良い食事をしている」と答える生徒の割合を(80.0%)にする。	・「健康に良い食事」の大切さを保健だよりや、生徒会の昼の放送で呼びかけを行う。 ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを多くの場面で意識させ、自己の健康管理に活かせるようにする。							・食育担当教員 ・家庭科担当教員 ・養護教諭	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・毎週水曜日の定時退勤日を設定する。 ・週二日の部活動休業日を設定する。 ・学校閉庁日(8/12～8/16)を設定する。 ・業務の効率化を図り、年次休暇の取得がしやすい職場環境に努める。							・管理職	
●特別支援教育の充実	○個々の生徒に応じたきめ細かい対応	○「全職員で共通理解を図り、個々の生徒に応じた対応に取り組んでいる」と答える職員の割合を80%以上にする。	・教育支援部会や生徒指導協議会を通して、共通理解、共通実践を行い、支援体制を強化する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援のあり方などを検討していく。							・特別支援教育コーディネーター ・学年主任 ・養護教諭	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○生徒指導・教育相談の充実	○生徒指導の重点指導方針を活かした自己指導力の育成 ○個に応じた支援の推進	○「自分のことが好きだ」と答える生徒の割合を70%以上にする。 ○「先生に困ったことや悩みを相談できる」と答える生徒の割合を昨年度同様(85%)以上にする。	・生徒会と連携し、生徒の主体的な活動を支援する。 ・学校教育目標を意識し、「みんなが楽しいとは？」ということを生徒に問いながら、全職員で、生徒同士、生徒と教師が繋がり、互いに尊重し合う態度を育成する。							
○保護者・地域に信頼される学校づくり	○学校の様子を通信等を通して情報発信する。 ○生徒、保護者に寄り添った対応を行う。	○「家庭への情報発信や連絡を積極的に行っている」と答える保護者の割合を昨年度同様(90%)以上にする。 ○「海青中学校の教育活動に満足している」と答える保護者の割合を昨年度同様(88%)以上にする。	・学校や生徒の様子を通信類(連絡帳・学級通信等)を通して保護者に知らせる。 ・保護者と連絡・相談を密に行い、連携・協力して生徒の指導にあたる。							・管理職 ・教務主任 ・生徒指導主事 ・学年主任 ・養護教諭

●…県共通 ○…学校独自 ○…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--